



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059

■工事中です

この広報がみなさんのお手元に届くころ、水族館はリニューアルに向けて工事のため休館しています。閉館してはいますが、つぶれてしまったわけではないので間違えないように。つぶれないように、楽しい水槽を作るための休館です。

水族館の水槽は家庭で楽しむ水槽と違って、ヒョイと持ち上げてホイホイと洗ってでき上がり、というわけにはいきません。掃除は、閉館後に夜な夜な行われたり、

そっくり水槽を変えてしまうときは今回のように一時閉館して大きな重機が入って行きます。

■さよなら回遊水槽

今回の工事は、極度に老朽化した入り口付近の「回遊水槽」を撤去して新しい水槽を作ります。回遊水槽は当時としては最先端の技術を使ってできたものだったようで、37年間展示を支えてきました。また、飼育員が「潜水」をして掃除を行う水槽で、この水槽を掃除するために竹島水族館の飼育員のほとんどは、潜水士の資格を持っ

ています。撤去工事のため現在水槽に入っている魚を出さなくてはならないのですが、大きな魚が多くて引越しはかなり困難。麻醉薬の量や引越し手順、魚を運ぶ道具の準備などが担当者間で急ピッチに行われています。

■新水槽は

さて、回遊水槽跡に新しくできる水槽は以前から要望の多かった「タッチング水槽」すなわち生き物に触れて楽しめる水槽です。竹島水族館にとっては新しいタイプの水槽導入で、せまい空間の中で設計や構想にかなりの時間を要しました。

私の中では、新設タッチング水槽は、今までの生き物の展示・教育・学習などといった「正しい水

族館」的なイメージから、意図的に離れることを目標に、教育や学習とか生き物を知るといったもの以上の、博物館や水族館の役割を越えた収穫のある水槽を目標に設計しました。といっても簡単ではなく、苦労だらけ。新しく生まれ変わる竹島水族館をお楽しみに！

休館・リニューアルオープンのお知らせ

○休館

1月17日(月)～3月17日(日)

○リニューアルオープン

3月18日(金)



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

今回は、図書館で就業体験をした、蒲郡高等学校2年・大竹唯里香さん、豊橋商業高等学校1年・鷺野友紀さんにお話を伺いました。

—就業体験の感想を聞かせてください。

鷺野：図書館の司書って仕事をやってみたいなと思ってたので、やらせてもらって楽しかったです。

大竹：もっと楽だと思ってました。(笑)分室とか、本をちゃんと整頓してて、大変だったのがびっくりしました。

—どんな本をよく読みますか？ お薦めの本があったら教えてください。

鷺野：小説ならなんでも。ファンタジーが好きです。甲田学人さんの『Missing』とか、結城光流さんの『少年陰陽師』とか。『Missing』はイラストがきれいで、それで読み始めたんですけど。怪談みたいな話で、私は怖いのが苦手なんだけど、これは読んで楽しいです。『少年陰陽師』は、陰陽師に興味があって、安倍晴明が好きなので。

大竹：本はあんまり読まなくて、雑誌なら。ファッションとかメイクの。自分で買ったり友達と貸し借りしたりして読んでます。

小さいころ読んだ絵本で覚えているのが『まねっこねこちゃん』。祖母が買ってくれた。絵本とか好きなので、児童室は楽しかったです。

就業体験お疲れさまでした。楽しいお話ありがとうございました。

